

INGRID FUZJKO HEMMING
フジコ・ヘミング ピアノコンサート 2015
PROGRAM

F. Schubert (1797-1828)

Impromptu Op.90 No.1

M. Ravel (1875-1937)

Pavane pour une infante defunte (亡き王女のためのパヴァーヌ)

S. Rachmaninoff (1873-1943)

Prelude Op.32 No.5

C. Debussy (1862-1918)

Jardins sous la Pluie (雨の庭)

Clair de Lune (月の光)

W. A. Mozart (1756-1791)

Sonata A-dur alla Turca

Intermission

F. Chopin (1810-1849)

Nocturne Op.9-2

Nocturne Op. posth.72 No.1 (遺作)

Etude Op.25 No.1 (エオリアンハーブ)

Etude Op.10 No.12 “Revolutionary” (革命)

Ballade No.1 Op.23

F. Liszt (1811-1886)

Theme and Variations S 141-6 (from Grandes Etudes de Paganini)

Un Sospiro S 144-3 (ため息)

F. Liszt – F. Schubert

Die Forelle (鱒)

F. Liszt

La Campanella (from Grandes Etudes de Paganini)

※ 曲目・曲順は変更になる場合が御座います。予めご了承ください。



INGRID FUZYKO HEMMING
フジコ・ヘミング
ピアノコンサート
2015

軽井沢 4/26日

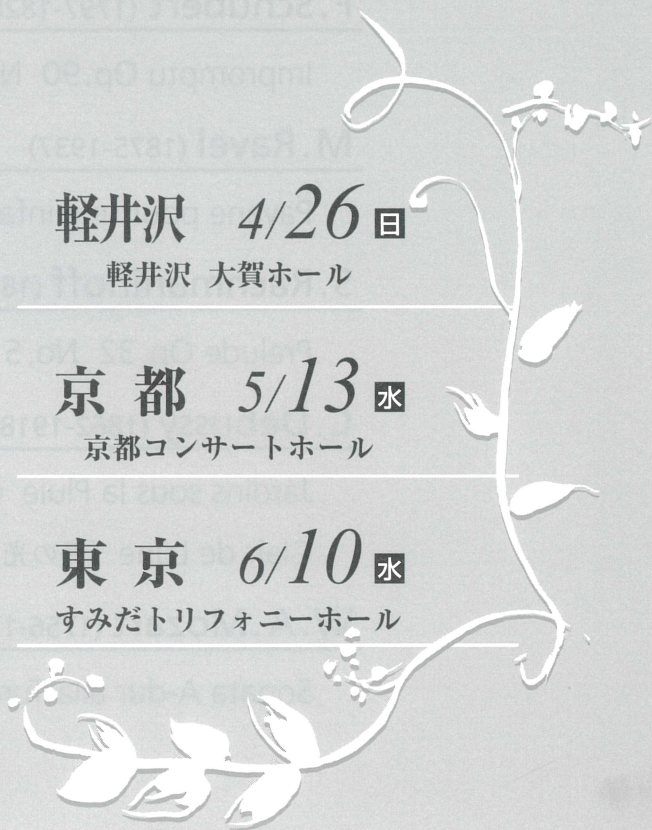
軽井沢 大賀ホール

京都 5/13水

京都コンサートホール

東京 6/10水

すみだトリフォニーホール



動物チャリティ募金のお願い

”ラ・カンパネッタ”/青葉ピアノで企画・主催する公演ではコンサートの会場内に募金箱を設置させて頂いております。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区5R2Z協力で集められた募金はフジコさんの希望でもある滝川クリステルさんが代表である一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブルに贈らせて頂きます。

皆様の温かいご協力を宜しくお願い致します。

一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル

代表 滝川 クリステル



イングリット・フジコ・ヘミング INGRID FUZYKO HEMMING プロフィール

スウェーデン人建築家と日本人の母を両親としてベルリンで生まれる。母の指導で幼いころからピアノを始めた。

10歳のとき、レオニード・クロイツァーにつき、大きな影響を受ける。クロイツァーは、彼女が将来、世界中の人々を魅惑するピアニストになるだろうと予言していた。

青山学院、東京芸術大学を経て、NHK・毎日コンクール受賞、日本フィルなど数多くのオーケストラと共演、来日中のサムソン・フランソワは、フジコのショパン・リストを聴き絶賛。

その後、ベルリン国立音楽学校に1番で入学。その後、ウィーンに移り、後見人でもあったパウル・バドゥーラ＝スコダに師事した。

今世紀最大の作曲家・指揮者の一人ともいわれるブルーノ・マデルナにウィーンで才能を認められ、彼のソリストとして契約した事は、彼女が最も誇りとしているところの一つである。ちなみに、この契約に際しては、彼女の演奏に感銘を受けたレナード・バーンスタインからのサポート(支持・援助)があった。ヨーロッパでの多くの演奏会は大成功をおさめた。

1968年すでにドイツの“Die Welt”紙は、「ピアノを弾くため、ショパンとリストのために生まれて来た。」また「日本からピアニストが出た」と報じている。

ドイツ、オーストリア、スウェーデンでの放送は、好評につきたびたび再放送された。

1999年、NHKで放送されたETV特集は、大反響を呼び、その後、何度も再放送される。

デビューアルバム“奇蹟のカンパネラ”は、クラシック界では異例の300万枚の大ヒットとなる。4回のゴールドディスク大賞等は、前代未聞。彼女の他に誰もいない。ロイヤル・フィル、モスクワ・フィル、ハンガリー・フィル、ハンガリー・ラジオシンフォニー・オーケストラ、MAVシンフォニー・オーケストラ、バーリ・コンサートソサエティ・オーケストラ、スペイン国立放送交響楽団、イングリッシュ・シャンパー、リトアニア・シャンパー、ミュンヘン交響楽団、ベルギー・フィル、ジョルジ・エネスコ交響楽団と、国内外で活動を続けている。

2013年には、モスクワ・フィル、チェコラジオシンフォニーなどからソリストとして招待される。世界各国で定期公演に出演し、その名声を海外に広げている。

また彼女は音楽活動のみに留まらず、米国同時多発テロ後の被災者救済のために年間CDセールスの印税の全額寄付やアフガニスタン難民のためのチャリティ活動、動物愛護への深い関心と援助を長年続けている。

彼女は多くの共演したアーティストから称賛の目を向けられている。

いろいろなフェスティバルから招待され、2010年、ワルシャワのショパンフェスティバルにVIPのみの招待客で行なわれた特別なコンサートにも招待されている。

ロンドンBBCは、VIPとしてのインタビューとライブ演奏を放送している。

最近では、2013年スペイン最大のクラシックラジオ局でChopinとMozartの最新CDがリスナー支持により第1位に選ばれ、ラジオフランスクラシック、BBCラジオからも放送されている。



企画・主催:



”ラ・カンパネッタ” / Aoba 青葉ピアノ